

島々の話題 ISLANDS' TOPICS

上島町文化祭

10月30日のせとうち交流館での総合開会式を皮切りに、30日、31日は弓削地区、11月6、7日には生名、岩城、魚島地区で文化祭が開催され、それぞれ展示部門、芸能発表部門において1年間の成果を発表しました。4地区の出演、出演の合計は106団体（個人出展含む）約650人で、約2,700人の方が会場を訪れました。期間中には文化公演会の開催や、バザー、茶席を設けるなど、それぞれが特色ある会場になっており、島々が本格的な秋の訪れとともに文化の色に染まりました。各地区間の作品、出演の交流も年々増えています。



元気歯つらつコンクール受賞

愛媛県と愛媛県医師会では、80歳以上で自分自身の歯が20本以上残っている方を対象に、毎年「元気歯つらつコンクール」を開催しており、今年は上島町から山本富喜子さんが優秀賞、3名の方が入賞されました。歯は健康のバロメーターです。歯が健康な方ほど体の健康状態が良いと言われています。歯の喪失を予防することが、毎日を健康で生き活きと生活する秘訣です。歯みがきや歯科検診などで正しいデンタルケアを心がけましょう。



11/5・15
《岩城・生名》

稚魚放流

岩城島と生名島において、岩城生名漁協漁業協同組合によるキジハタの稚魚2,500尾の放流が行われました。これは、当海域の資源回復及び維持並びに環境保護のため毎年実施しているもので、当該海域が豊かな漁場となり、さらには漁獲量が増え、魚の安定した供給が期待されます。



11/3

上島連合チーム 優勝!

今治市の石文化運動公園と吉海中学校において、宮窪親善野球大会が行われ、上島連合チーム（岩城中学校・弓削中学校）が見事優勝しました。強豪揃いの8校が参加する中、上島連合チームは1回戦を新人戦優勝校の菊岡中学校を1対0、2回戦を開催校である宮窪中学校を2対0ともに完封で勝利し、決勝に進出しました。決勝では、上浦中学校・大三島中学校連合チームと対戦し、延長9回まで決着がつかず、10回タイブレークの攻防の末、5対2で勝利しました。これで、来年上島町で行われる離島甲子園に向けて弾みがつきました。選手のみなさんの今後の活躍に期待いたします。



11/28

愛媛FC 上島町マツタウン

松山市のニンジニアスタジアム（愛媛県総合運動公園陸上競技場）において、サッカーJ2・愛媛FCのホームゲームが行われ、上島町と西条市による愛媛FCマツタウンが開催されました。当日はホームゲーム最終戦とあって、競技場には約4,800人の大観衆が押し寄せました。オープニング前には上島町の子どもたちが上島町のPRと愛媛FCの応援をし、その後上島町特産の青いレモンを上村町長と愛媛FCの選手、上島町の子どもたちが大観衆へ振る舞いました。セレモニーでは、上島町と西条市の子どもたちがエスコートキッズとして選手と手をつないでピッチに堂々と入場しました。また、上村町長が愛媛FCとジェフユナイテッド千葉の両チームのキャプテンに上島町特産のレモンポークを贈呈し、健闘を祈りました。

試合は、ホームゲーム最後の雄姿を見ようと集まったサポーターたちが大きな声援を送りましたが、激しい攻防の末、惜しくも0-1で敗れてしまいました。競技場外の物産展コーナーではレモン製品、芋菓子、弓削海苔などの特産品の販売を行い、大いに上島町をPRしました。



12/5

大収穫祭！青いレモンまつり&しまなみかんきつフェスタ・2010

愛媛県しまなみ農業指導班岩城駐在所において上島町産業まつり「大収穫祭！青いレモンまつり」と「しまなみ・かんきつフェスタ・2010」が同時開催され、2,200人の人出で賑わいました。レモンまつりでは、恒例のレモンコンテストや農産物品評会に町内外から多数の出品があり農作物の出来栄を競いました。また、青いレモン料理コンテストでは、最終審査に残った9組が料理を競い合いました。そのほかにも、青いレモンカクテル講座やレモンポーク試食、島豚ふれあい撮影会、旨いもんバザー等が行われ、レモンで出来たオブジェも展示されました。かんきつフェスタでは、島本陣岩城太鼓の演奏、柑橘栽培技術セミナー、銘柄産地の柑橘試食・はれひめジュース試飲、みかん狩り体験、餅まき等が行われました。

レモンコンテスト【青いレモン大賞】砂川 章（上島町）
農産物品評会【上島町議長賞】岡野 洋三「入参」（上島町）
青いレモン料理コンテスト【最優秀賞】奥名 卓（静岡県）



12/15

ゆげじま竣工式

せとうち交流館において、フェリー型旅客船「ゆげじま」の竣工式が開催され、上村町長をはじめ町議会議員、各地区長など33名が出席し、建造業者への感謝状贈呈や「ゆげじま」建造過程の映像紹介が行われました。その後、弓削港棧橋に会場を移し、上村町長外3名によるテープカットが行われ、「ゆげじま」の完成を祝いました。「ゆげじま」は生名橋開通後、下弓削と土生間に就航予定で、上島町にとって貴重な移動手段として活躍が期待されます。

《ゆげじま》主要目》

- ・全長 21.4メートル
- ・幅 5.2メートル
- ・総トン数 19トン
- ・定員 80名（椅子席24名、折りたたみ席7名、ベンチ席41名、立席8名）
- ・巡航速度 14ノット



（写真右から）上村町長、愛媛県東予地方局 今井今治土木事務所長、国土交通省四国地方整備局道路部 荻野道路調査官、原町議会議員

11/10

《弓削》

マツ樹木医講習会

上島町消防庁舎において、緑化推進事業の一環として適正な松に関する知識及び松林の環境整備を進めていくことを目的に、NPO法人グリーンキャンドウの主催で、愛媛県樹木医会の原国紘マツ樹木医を招いて講演会が行われました。講演会では、「マツの育て方」と「名勝地法王ヶ原のマツについて」の講話があり、参加者は松林を守ろうと熱心に聞いていました。



11/21

《岩城》

ふるさとづくりワークショップ

岩城の長江地区で「ふるさとづくりワークショップ」が開催されました。この取り組みは、地域に住む人たちが自分たちの手で住みよい地域づくりを行っていくため、集落を点検し、きれいな所や改善したいところを探して地図を作るものです。



当日は、幼児からお年寄りまで幅広い年代の約60人が参加しました。午前中は3班に分かれて集落を歩いて点検。午後からは点検したことをそれぞれの班で話し合い、点検地図を作って発表しました。

参加したみなさんにとって初めての試みでしたが、若い世代や子どもたちが年配の方から土地の言い伝えや歴史について教えてもらったりなど、実りが多い会となりました。

今後は、点検地図をもとに地域で取り組めることや行政に要望することなどを振り分け、冊子にまとめる予定です。

11/26

第16回広州アジア大会 日本選手団主将 村上幸史選手 金メダル獲得

中国広東省広州市で開催された第16回アジア競技大会において、上島町名誉町民の村上幸史選手（スズキ浜松AC）が、陸上男子やり投げで1990年北京大会の吉田雅美選手以来となる金メダルに輝きました。

金メダルを公言して臨んだ村上選手は、1投目79m62cmでトップに立ち、力強く美しい放物線を描いた2投目は、80mラインを大きく超えて自己ベストを5cm更新する83m15cmで悲願であった金メダルを獲得し、圧倒的な強さを示してアジア王者となりました。また、昨年の世界選手権銅メダリストである村上選手は、今大会の日本選手団（総勢1078名）の主将を務め、色々な重圧がある中、重責を果たす結果を残しました。

「郷土の星」村上幸史選手金メダル獲得おめでとうございます。これからも世界の頂点を目指して頑張ってください。

2011年8月の世界陸上テグ大会（韓国）と、2012年7月のロンドン五輪での更なる活躍を期待しています。



広州アジア大会 金メダルを獲得した村上選手の2投目